**第十七回　公徳文芸賞　〔自由詩部門〕**

**▽入選**

**「 夏の音 」**

２年　園芸科　牛島　啓志

まぶしい夏の音に耳を傾け

音のひとつやふたつを聴いてみる

チリリン　チリリン　チリリリリン

風鈴のさわやかな音色聞こえるかい

お次はミーン　ミーン　ミンミンミンミン

夏の空に響きわたる

夏のロックバンドの　セミーメタル

カーナ　カナカナカナナナナ

「もう夕暮れ時だわ」と帰りのチャイム鳴り響く

夕暮れ時の子守歌

夏の夜に鳴り響く

蛙たちのコンサートと蛍のいう名のスポットライト

みとれた僕は立ちつくし

雨に打たれ

「今日は本当ありがとう」と蛙と蛍たちと別れた

こうして僕は夏の日の音とはこんなにも美しく

心が和むのかと心打たれた

また色んな季節の音が聴かれるのかと

僕も色んな音に耳を傾け続ける

**第十七回　公徳文芸賞　〔短歌部門〕**

**▽努力賞**

**「家族への　日頃の感謝　忘れずに　伝えられる時　伝えていこう」**

２年　園芸科　阿南　康平

**第十七回　公徳文芸賞　〔肥後狂句部門〕**

**▽努力賞**

**「コロナのせいで　家にこもってゲーム王」**

２年　窯業科　池田　凜